

付属資料 8.1 魚類（メダカ）を用いた試験の結果

（平成 17 年度実施）

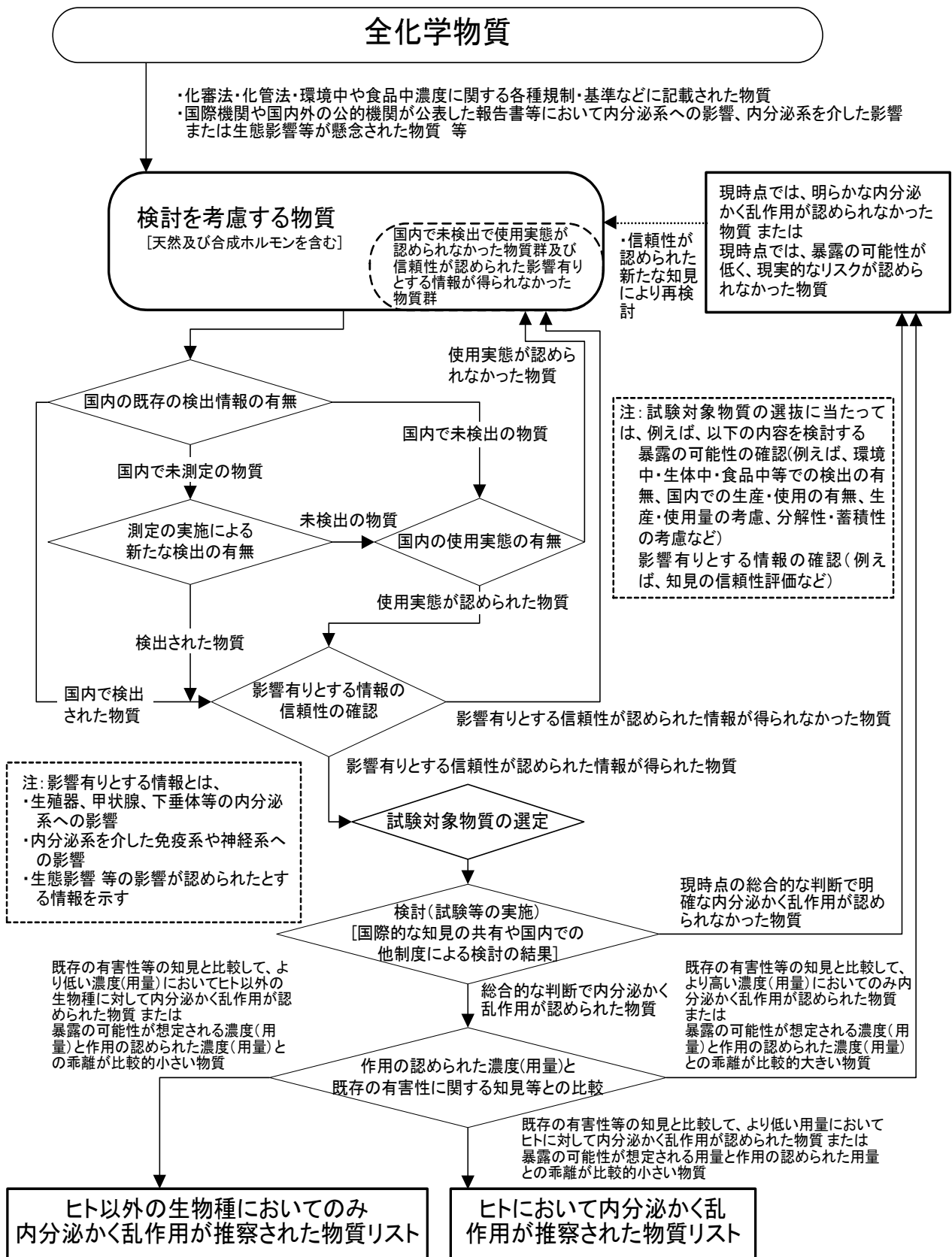
物質名	試験結果
4-t-ブチルフェノール	メダカエストロジェン受容体(ER α)レポータージーン試験では、ER α に対する活性は認められたが、EC ₅₀ 値は得られず、メダカエストロジェン受容体(ER β)レポータージーン試験、メダカアンドロジェン受容体レポータージーン試験及びメダカ甲状腺ホルモン受容体結合試験においては、有意な反応は認められなかった。
ニルフェノールモノエトキシレート	
ニルフェノールジエトキシレート	
ニルフェノキシ酢酸	

付属資料 8.2 哺乳類（ラット）を用いた試験の結果

（平成 17 年度～平成 18 年度実施）

物質名	試験結果
4-t-ブチルフェノール	文献情報等により得られたヒト推定ばく露量を考慮した用量(2用量群で実施)での明らかな内分泌かく乱作用は認められなかった。

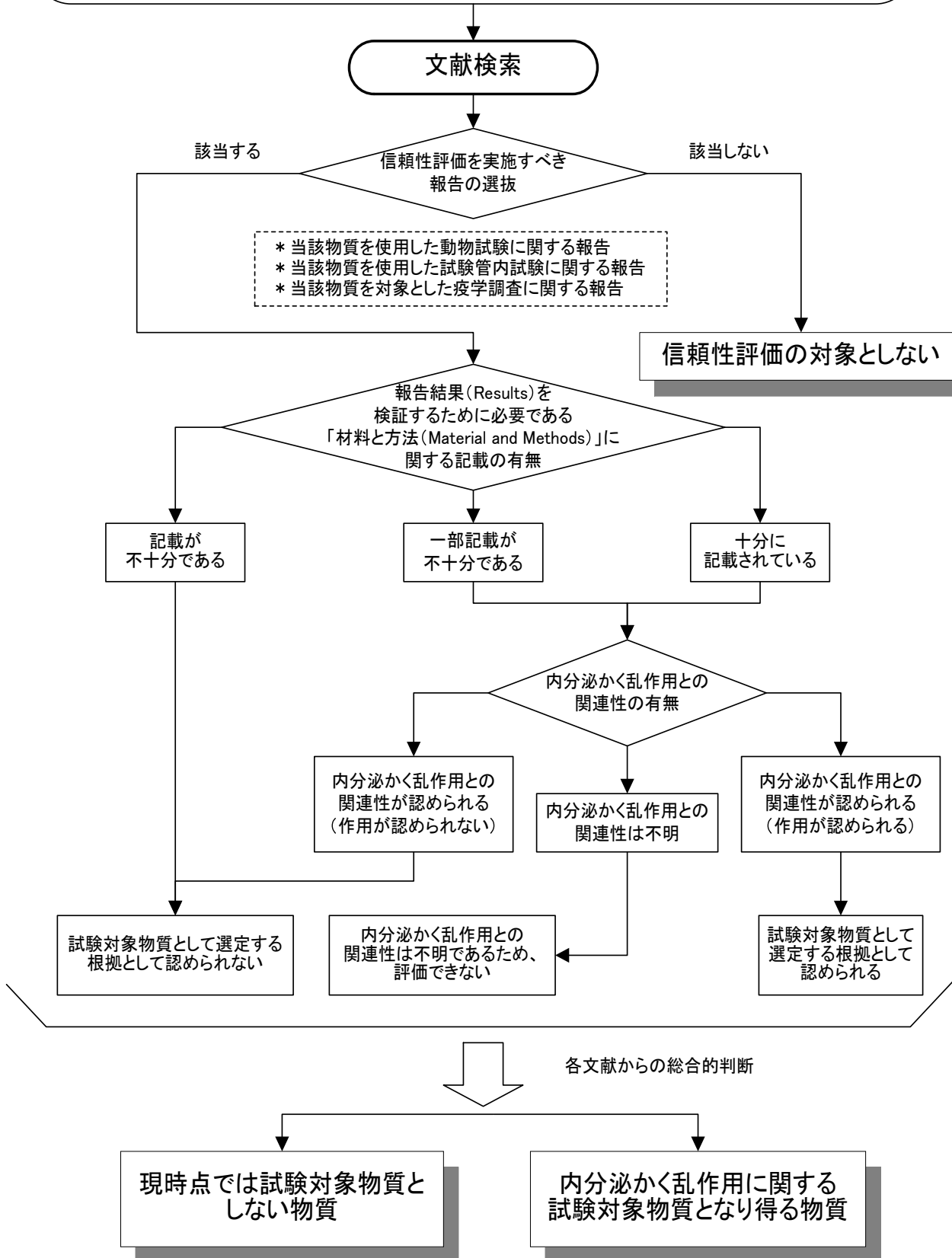
付属資料 9.1 化学物質の内分泌かく乱作用に関する試験対象物質選定と評価の流れ



付属資料 9.2 信頼性評価の実施フロー

信頼性評価の対象物質を選定するための母集団

- (1) 化学物質環境実態調査において検出された物質
- (2) 環境省において化学物質の内分泌かく乱作用に関する動物実験を実施した物質



付属資料 10 化学物質の内分泌かく乱作用に関連する報告の
信頼性評価の対象物質

(平成 21 年度末現在)

エストロン*、*p*-ジクロロベンゼン*、*N,N*-ジメチルホルムアミド*、2,4,6-トリ
ブロモフェノール*、2,4-トルエンジアミン*、ヒドラジン*、フェンチオン*、
o-ジクロロベンゼン**、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩**、トリ
フルラリン**、アジピン酸、カルバリル(NAC)、カルボフラン、シアナジン、
ジウロン、ジクロルボス、ジクロロブロモメタン、ダイアジノン、フェナント
レン、フェニトイン、フェニトロチオン、フェノバルビタール、1-ブタノール、
ペルフルオロオクタ酸、ベンジルアルコール、メタクリル酸メチル及び EPN

*：内分泌かく乱作用に関する試験対象物質となり得る物質

**：現時点では試験対象物質としない物質

無印：得られた報告の信頼性評価を実施中の物質

付属資料 1 1 化学物質の環境リスクに関する国際シンポジウムの実施概況
(平成 1 7 年度～平成 2 0 年度)

年度 (回数) 開催期間	開催地	メインテーマ	参加 延べ人数
		一般向けプログラムにおける パネルディスカッションのテーマ	
平成 17 年度 (第 8 回) 12 月 4 日～6 日	沖縄県 那覇市	国内外の最先端の研究・取組につ いての情報共有・意見交換	約 530 人 (3 日間)
		今、自然界で何が起きているの か?～内分泌かく乱作用から生態 系をどう守っていくのか～	
平成 18 年度 (第 9 回) 11 月 12 日～14 日	北海道 釧路市	化学物質の内分泌かく乱作用、化 学物質のリスク管理のための取 組、化学物質の健康リスクに着目 した小児の環境保健	約 400 人 (3 日間)
		化学物質とどう付き合っていくか ～リスクとメリットから考える～	
平成 19 年度 (第 10 回) 12 月 9 日～10 日	埼玉県 さいたま市	化学物質のリスク管理のための取 組、化学物質に由来する健康リス クに着目した小児の環境保健	約 850 人 (2 日間)
		化学物質の内分泌かく乱作用につ いて～ 10 年間のあゆみ～	
平成 20 年度 (第 11 回) 12 月 14 日～15 日	東京都 江東区	小児を取り巻く環境と健康影響及 び化学物質の内分泌かく乱作用に 係る取組・今後の展望	約 930 人 (2 日間)

付属資料 1 2 化学物質の内分泌かく乱作用に関する検討会及び関連検討部会委員名簿

(○：座長)

化学物質の内分泌かく乱作用に関する検討会委員（平成21年度及び平成22年度）

有田	芳子	主婦連合会 環境部長
井上	達	(独) 医薬品医療機器総合機構 テクニカルエキスパート
上路	雅子	(社) 日本植物防疫協会 技術顧問
小倉	正敏	(社) 日本化学工業協会 常務理事
○北野	大	明治大学大学院 理工学研究科 新領域創造専攻 安全学系 教授
小出	重幸	読売新聞東京本社 編集委員
崎田	裕子	ジャーナリスト・環境カウンセラー
佐藤	洋	東北大学大学院 医学系研究科 教授
高橋	道人	病理ピアレビューセンター 主宰
立川	涼	愛媛県環境創造センター 所長
遠山	千春	東京大学大学院 医学系研究科 教授
渡邊	信	筑波大学大学院 生命環境科学研究科 教授

(参考人)

井口	泰泉	自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター教授
安部	孝徳	(財) 環境情報普及センター
江藤	千純	(財) 化学物質評価研究機構
大西	悠太	いであ (株)
川嶋	之雄	日本エヌ・ユー・エス (株)
鑪迫	典久	(独) 国立環境研究所

ExTEND2005 基盤的研究企画評価検討部会委員（平成21年度）

奥野	泰由	(社) 日本化学工業協会 新規課題対応ワーキンググループ 主査
小山	次朗	鹿児島大学水産学部海洋資源環境教育研究センター 教授
○佐藤	洋	東北大学大学院 医学系研究科 教授
遠山	千春	東京大学大学院 医学系研究科 教授
永沼	章	東北大学大学院 薬学研究科 生体防御薬学分野 教授
萩野	哲	住化テクノサービス株式会社環境科学センター環境生態部 部長
益永	茂樹	横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授
渡辺	知保	東京大学大学院 医学系研究科国際保健学専攻人類生態学分野 教授

ExTEND2005 野生生物の生物学的知見研究検討部会委員（平成21年度）

岩松 鷹司 愛知教育大学 名誉教授
椿 宜高 京都大学 生態学研究センター 教授
端 憲二 秋田県立大学 フィールド研究センター 教授
村田 幸雄 (財)世界自然保護基金ジャパン シニアオフィサー
○渡邊 信 筑波大学大学院 生命環境科学研究科 教授

ExTEND2005 作用・影響評価検討部会委員（平成21年度）

齋藤 昇二 住友化学株式会社 生物環境科学研究所化学品評価グループ
研究グループマネージャー
白石 寛明 (独)国立環境研究所 環境リスク研究センター長
菅谷 芳雄 (独)国立環境研究所 環境リスク研究センター 主任研究員
○遠山 千春 東京大学大学院 医学系研究科 教授
原 彰彦 北海道大学大学院 水産科学研究院 研究院長
大学院水産科学院 学院長 水産学部 学部長
藤井 一則 (独)水産総合研究センター 瀬戸内海区水産研究所
化学環境部 生物影響研究室長

ExTEND2005 リスクコミュニケーション推進検討部会委員（平成21年度）

有田 芳子 主婦連合会 環境部長
井上 歩 (社)日本化学工業協会 広報部長
内山 巖雄 京都大学名誉教授
○北野 大 明治大学大学院 理工学研究科 教授
吉川 肇子 慶應義塾大学商学部 准教授
間正 理恵 (社)環境情報科学センター調査研究室 主任研究員
村田 幸雄 (財)世界自然保護基金ジャパン自然保護室 シニアオフィサー
山形 浩生 評論家・翻訳家
脇森 裕夫 農薬工業会